

くげぬの輪

鵜沼地区青少年育成協力会

第42号

発行日 2025年3月25日

発行 鵜沼地区青少年
育成協力会

発行者 手島 暁子

編集 広報部 会



防災デイトリップに行ってみよう!

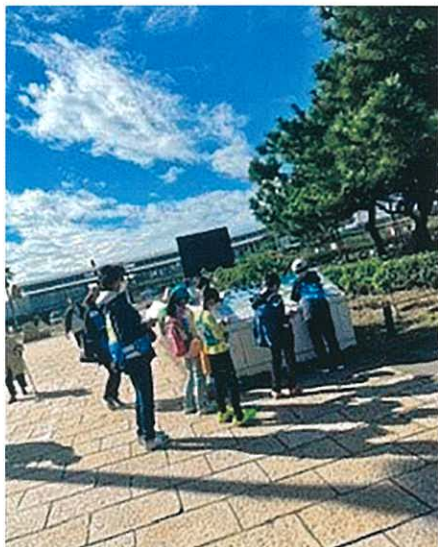
～神奈川県総合防災センター見学～



5月25日(土)鵜沼小学校4～6年生と神奈川県総合防災センターで、強風や地震の揺れを体験し、煙避難や消火活動も楽しく学んできました。



※写真の掲載は、行事参加募集の際にご了承いただいております。



11月9日(土)暖かい陽気の中、
鵜沼地区4小学校33人の子も
たちが6グループに分かれ、クイ
ズに答えながら暗号みたいな地図
を持ってゴールをめざし、鵜沼海
岸を歩きました。



※写真の掲載は、行事参加募集の際にご了承いただいております。



10月19日(土)20日(日) 射的・綿菓子
今年もたくさんの子もたちが来てくれました。射的も綿菓子も大大盛況でした！



くげぬまの輪をひろげ

辻堂とのかけはし

鵜南小学校
校長
秦野知子



～さわやかな風が
ふきぬけるまじに～

鵜南小学校では、

この9月に新校舎での学校生活が始まりました。“海辺にある森の分校”をイメージしています。ぜひみなさんもお近くにきた際は、声をかけていただき、新しい鵜南小学校を見て…感じていただければ”と思っています。お待ちしております。

新校舎で生活してみて、改めて感じるのは、
子どもたちが学ぶ、育つ環境の大切さです。

新校舎が持つ広い廊下や多目的ホール、明るい教室や開放感のある窓、わくわくする図書館(メディアセンター)木のぬくもりが感じられるお友だち昇降口…



それらが

子どもたちや教職員にゆとりと

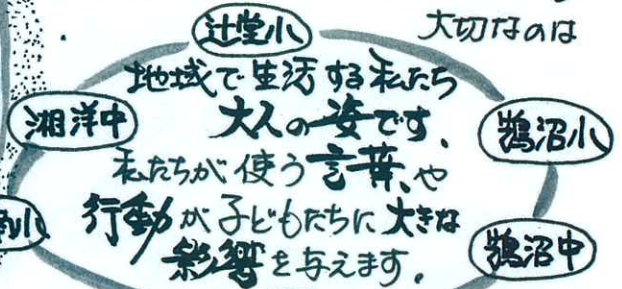
安心感を与えてくれます。学校公開日にお話しした保護者の方にも「ちょっとハンパな場所でおしゃべりできたり、広い廊下で集まったり子どもたちも先生方も いままで以上に余裕がのびのびしているように感じます。」と言ってくれました。子どもたちもわくわくしているでしょう。実際、子どもたちの登校も早くなっています。(これってすごいことだと思います。)

地域でも同じことが言えると思います。
子どもたちは地域で育ちます。

いつも歩く道、あそび公園、道端のベンチ立ちよるお店や商店街、利用する施設や駅、行きかう人の流れ… それらすべてが

子どもたちに語りかけています。

そして子どもたちの環境として、もっとも大切なのは



私たちの笑顔は **鵜沼小** 子どもたちの笑顔につながります。子どもたちが **のびのび**と安心して **学ぶ、育つ 鵜沼** をこの場所、みなさんと一緒に楽しんでつくってきたいと思っています。

鵜南小は現在、“三者連携”では **辻堂地区** に入っています。来年度は、コミュニティスクールとしてもスタートを切ります。いままで以上に地域のみなさんと連携し、学校づくりをすすめるとともに、

鵜沼と辻堂のかけはしと

なれるとすてきななと思っています。

今後とも

よろしくお願いいたします。





おかえりなさいパトロール

毎月鶴沼・鶴洋・鶴南各小学校の下校時
通学路を見守る活動を続けています。



会員研修会

9月5日(木)愛光女子学園



夏休みくげぬまワークショップ

鶴沼公民館・鶴沼地区青少年育成協力会共催事業

8月8日(木)鶴沼公民館でワークショップを行いました。
4つの作品の中から3つ選んで手作り作品に挑戦しました。



年末環境パトロール

12月13日(金)今年も青少年課街頭指導員と一緒に
藤沢駅北口南口周辺を4コースに分かれて周りました。



2024年度鶴沼地区青少年育成協力会



運 営 委 員

会 長	手 島 暁 子
副 会 長	古 川 京 子
会 計	高 島 知 子
書 記	三 浦 雅 子
	小 倉 利 昭
	寺 田 言 子
	成 井 ひとみ
育成部会長	和 田 まや子
環境部会長	上 延 悦 子
広報部会長	宮 本 敦 子
事務局	鶴沼市民センター

編集後記

昨今のコロナ禍や夏の猛暑で、夏休みの野外料理から屋内に変わり、また初めて公民館との共催で講師を招いてのワークショップが行われました。

これからも子どもたちの安全を見守りつつ、時代に合った活動で、たくさんの笑顔が見られたらいいなと思います。(M. M)